



## みんなのできる 地球温暖化防止活動 — 地球に、立つ!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

### ■成長の限界

国際的な研究機関であるローマ・クラブが、『成長の限界』という報告書を公表したのは、1972年です。要約すると、このまま人口増加と経済成長を続けると、100年以内に地球の成長は限界に達するといふものです。注目したのは、人口爆発、食糧生産、資源、資本、資源、環境汚染などです。翌年、石油ショックが起こり、成長の限界を実感することになりました。

### ■エコロジカル・フットプリント (EF)

人間の生活は地球に支えられています。人間活動のために必要な環境容量を面積で表したものです。①牧草地、②森林(林産物)、③漁場、④耕地、⑤市街地、⑥森林(二酸化炭素の吸収)の6つのフットプリントがあります。

全世界の人々がアメリカ人と同じ水準の生活をするためには、地球が5.3個分必要になるそうです。人間が

地球環境に与えている負荷の大きさがわかります。

### ■「地球を守ろう、世界の人々と共に」

ベスト学院株式会社社長の細谷松雄さんは、NPO法人美しい地球環境を守るNPOを2021年5月設立しました。「趣旨に賛同していただいた、主に企業経営者のみなさんと設立し、言い出しっぺの私が理事長に就任しました。世界の人々と地球を守ることができる人材の育成が目的です。企業として、経営者としての社会貢献です。直接のきっかけは、グレッタ・トゥーベリさんの活動に感動したからです。」

### ■みんなのできる地球温暖化防止活動

「地球を守るために、(1)SDGs活動、(2)植林、(3)CO<sub>2</sub>削減、(4)ごみ削減、(5)自然環境を守ること、(6)再生可能エネルギー推進、(7)自然環境教育などです。NPOの会員は、この中の一つ以上を選んで活動します。」

細谷さんは、長沼町(現須賀川市)のご出身。「ただ町ではなく長沼村だったころ、祖父が村有林の払い下げの活動を、村民と一緒に献身的に実施したことを知り、社会貢献の大切さを学びました。学びの場があること、学びの場を作ること、そして21世紀の真のリーダーの育成が自分の仕事ですね。」

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>